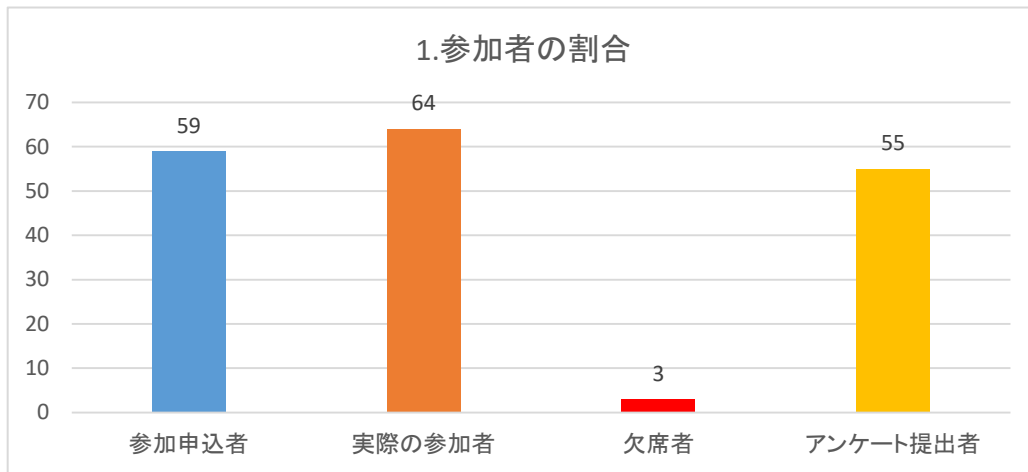


## 1. 参加者の割合

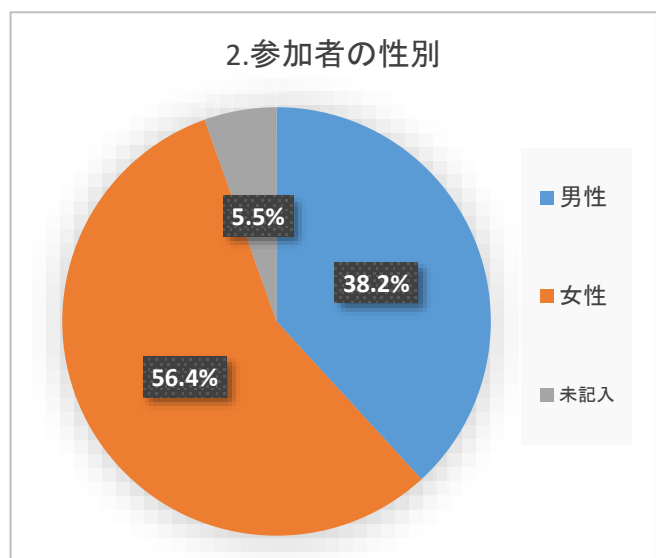
実際の参加者	64
アンケート提出者	55
アンケート提出率	85.9%

参加申込者	59
実際の参加者	64
欠席者	3
アンケート提出者	55



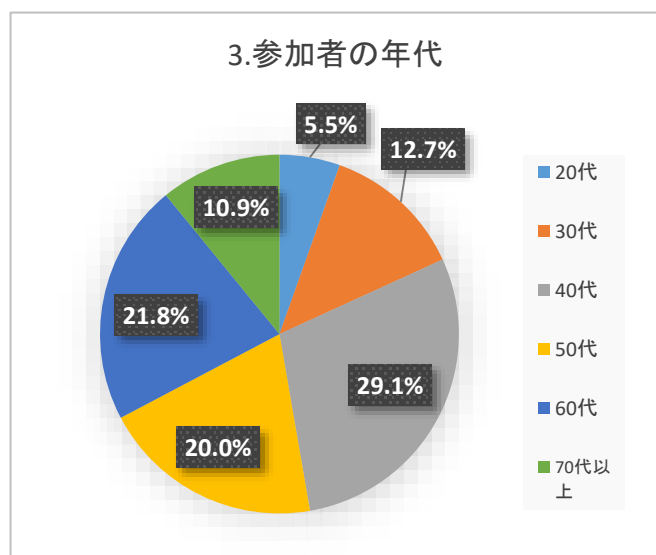
## 2. 参加者の性別

	回答数	回答率
男性	21	38.2%
女性	31	56.4%
未記入	3	5.5%
計	55	100.0%



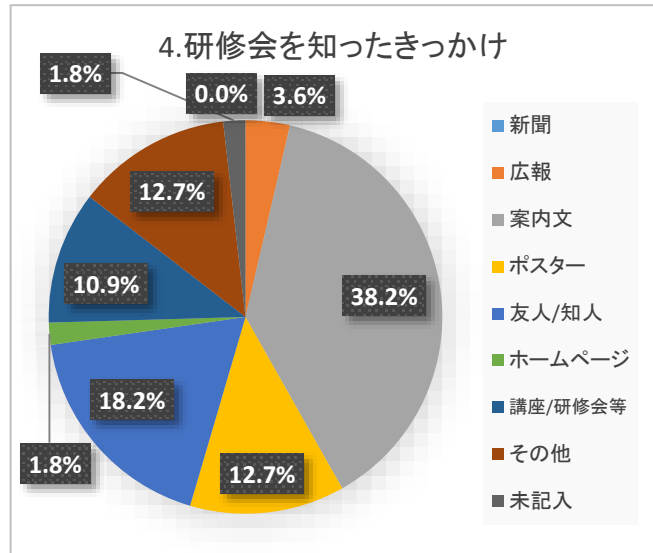
## 3. 参加者の年代

	回答数	回答率
20代	3	5.5%
30代	7	12.7%
40代	16	29.1%
50代	11	20.0%
60代	12	21.8%
70代以上	6	10.9%
計	55	100.0%



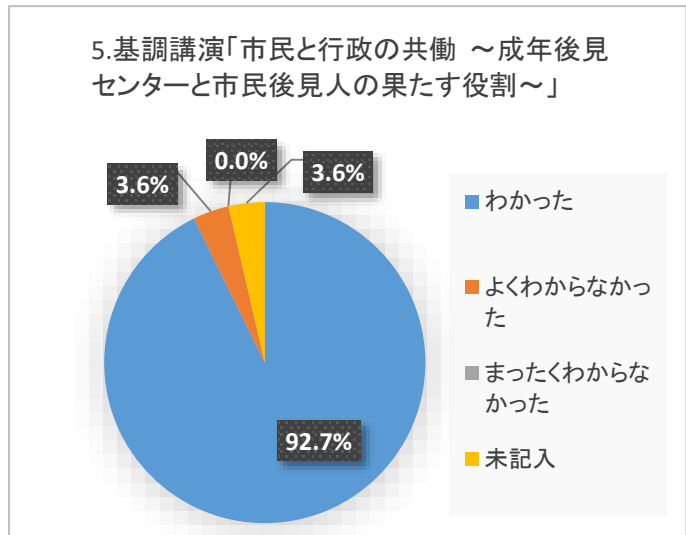
#### 4. 研修会を知ったきっかけ

	回答数	回答率
新聞	0	0.0%
広報	2	3.6%
案内文	21	38.2%
ポスター	7	12.7%
友人/知人	10	18.2%
ホームページ	1	1.8%
講座/研修会等	6	10.9%
その他	7	12.7%
未記入	1	1.8%
計	55	100.0%



5. 基調講演「市民と行政の共働 ～成年後見センターと市民後見人の果たす役割～」

	回答数	回答率
わかった	51	92.7%
よくわからなかった	2	3.6%
まったくわからなかった	0	0.0%
未記入	2	3.6%
計	55	96.4%

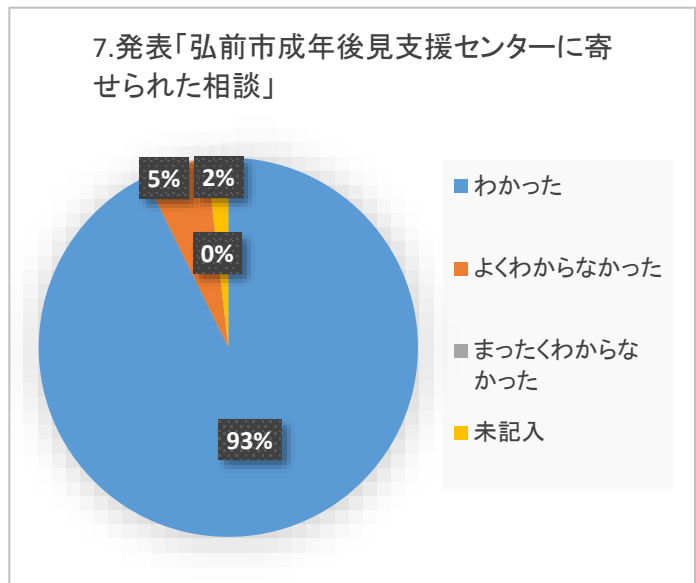


感想やご意見等

- 権利擁護センターの活動形態や内容についてさまざまなパターンがあることがよくわかった。市民後見人の果たす役割に関する部分の内容が少なすぎた。
- 色々な地域のやっていることがすごくわかった。
- 財政的問題を全国でどのように解決しているのかを説明していただき良かったです。
- 市民後見人が成年後見制度を支える担い手として重要な役目を果たしていこう、ということを感じた。最後にお話にあった使命感をどう感じてもらい、それにどう意味付けをしていくかが中枢機関の重要な役割だと思いますが、なかなかうまく伝えられないことを実感しました。
- 竹内氏が18年に渡って成年後見制度のために尽力されていたことに心が熱くなりました。竹内氏の使命感に感化されました。自分にも何ができるかを考えてみたいと思います。
- 説明書の使い方がいまいち。三支援の中で、自立はわかるが三支援者たちとの意志疎通や三支援の連携が難しそう。これからなんでしょう？ 家庭裁判所はこの制度をどう考えているのか。
- 岡山県は中核機関による体制が進行していて素晴らしいと思いました。
- これまで多くの成年後見制度に関する講演を拝聴していますが、竹内先生のお話は本当に分かりやすく、何よりも活動に対する希望を感じるものでした。竹内先生は市民後見人の悩みについて本当にご理解頂いており、心から感謝します。
- 地域によって事情が異なると思うので一概には言えないかもしれませんが、行政機関の「行政」というものが何を差すのか一般市民は理解しにくいなあと思いました。
- 中核機関のさまざまなパターンを知ることができて参考になった。
- 市民・行政の取組や専門職との地域が連携して取り組む重要性がわかりました。
- とても勉強になりました。地域で支え合うことの大切さを実感しました。
- チーム結成によって支援の質を上げることが、図で表現されていてわかりやすかった。
- 専門職の手の届きにくい部分を補うためのサポートだとわかりました。
- 市民後見人の役割やサポート当について考える機会となった。
- 市民後見人が決起して市長に直訴し、センター創設を実現したのは素晴らしいと思う。
- 市民と行政の共同について成程と思いながら、待つだけでなく自分たちがアクションを起こすことが必要だと痛感しました。互いに尊重し合いながら、仕事を進めていくことが重要であることと思いました。
- 竹内先生のように専門的な知識を持っていた方が市民後見人をしっかりとサポートし、市民後見人が安心して活動できる体制整備が非常に重要であると改めて感じました。

6. 発表「弘前市成年後見支援センターに寄せられた相談について」

	回答数	回答率
わかった	51	92.7%
よくわからなかった	3	5.5%
まったくわからなかった	0	0.0%
未記入	1	1.8%
計	55	100.0%

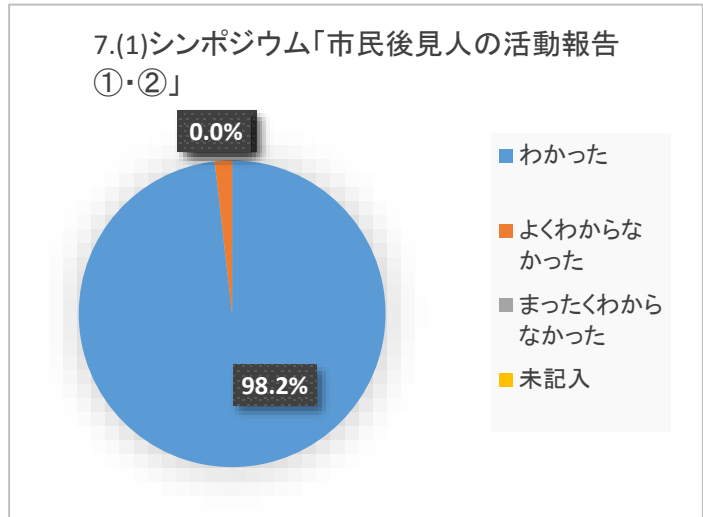


感想やご意見等

人口規模に違いはあってもセンターに寄せられる相談内容や相談者については大きな差はないと感じました。
三上氏が場を和ませようとしているのがよく伝わってきました。セミナーの内容が盛り上がりなかったのではなく、参加者が内容を聴きたいと力んでいたためだと思います。これからも頑張ってください。
後見人に資格は必要だろうか。何かしらの資格を持った方がいい。
よくわかりました。資料も見やすかった。
もう少し丁寧な説明を聴きたかったです。
実に幅広い分野の相談が寄せられていることがわかった。
弘前市の現状とそれを取り巻く後見人不足と、これからますます需要が高まるので市民の方々にも広く認知して頂くことが必要になってくるのだと思いました。
1日1件の相談があるということがわかりました。
後見人だけでは対応できない現状がわかりました。
竹内先生のアドバイスが大変よかったです。
弘前市の取組に感動しています。また意思決定支援の大切さを学ぶことができました。
成年後見のみならずさまざまな相談を受け、丁寧に対応なさっており、ご苦労が多いことと思います。後見人不足については各市町村と連携して取り組んでいきます。
市の相談窓口として頼られていること、地域に根付いていることがわかりました。センターがよいので市民後見人の方々も安心できると思いました。

7. (1)シンポジウム「市民後見人の活動報告①・②」

	回答数	回答率
わかった	54	98.2%
よくわからなかった	1	1.8%
まったくわからなかった	0	0.0%
未記入	0	0.0%
計	55	100.0%

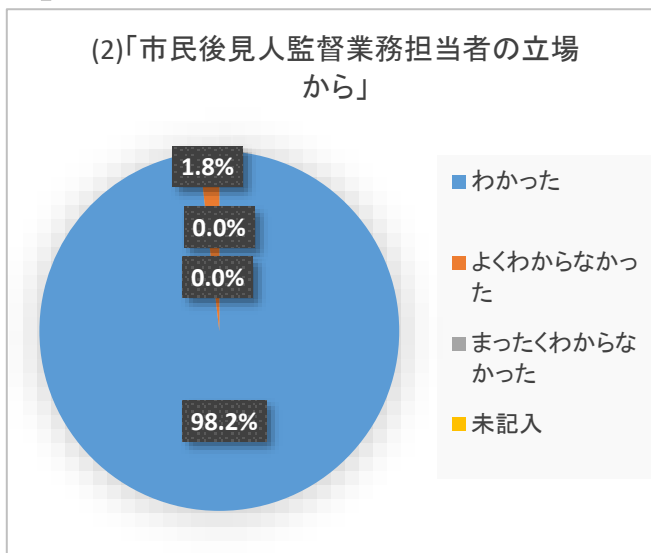


感想やご意見等

事例の中で2件とも報酬について触れていなかった。後続人のためにも今後はそれについても明らかにしていくべきだと思います。
事例でわかりやすかった。
よく頑張られていると思いました。
細部に渡り、説明して下さい大変よかったです。
実際の後見人活動の内容を聞いて参考になった。
毎日の業務で、市民後見人には本当に頭が下がります。市民後見人の方が増えていく仕組みを、関係者で考えて欲しい。現役世代の方が市民後見人を補助する制度もあるべきだと思います。
とても丁寧な活動をされている市民後見人だと思いました。またそれを支えるセンターもしっかりと機能しているので受任している市民後見人の皆さんも安心していることが感じられました。
澤田氏と奥谷氏の活動報告を聴いて、お2人が立派な倫理観を持っていると実感しました。お2人のような市民後見人が増えることを強く望みます。
すごいお仕事ですね。市民後見人は弱者の味方です。ここまで本人のお世話をするとは思いませんでした。
不足はわかるが、私は年配者と若者の2人をつけたい。指導する年配者からは私によりきアドバイスが欲しく、教わる若者に引き継いで欲しい。死後は無縁仏になりたい。老人施設に入所希望。残金は1人娘に渡し、荷物は捨てる。
難しい仕事をしていることに感銘を受けた。市民後見人は大事な仕事だが、なかなかできることではないと思う。
奥谷さん、澤田さんの御活動と人柄がうかがえてよかったです。人の終末期に寄り添う事は難しいことも多いとは思いますが、実際にどのような動きをするのか、その際の思いを知ることができて、ありがたかったです。参考にさせていただきます。
市民後見人の苦勞が伝わりやすい発表で、頭が下がる思いでした。
事例を通して利用者の方の意思を尊重する必要性を感じました。
市民後見人の方の活動内容を詳しく知ることができました。
②についてはよくわからなかった。死後事務について、気になることがある。私の家に長男がいるが、なぜ葬儀について長男には伝えないのかと思った。後見人の方はあまりに親切だと思った。
誠実さと献身的な行動がよく見えました。
事例報告を通して市民後見人の方がどのように活動しているかを知ることができた。
人と関わるのは本当に大変だと思っています。頑張っていることがよく伝わってきました。
支援と本人の死後について大変わかりやすかった。
2名の報告から、各々的大変さが伝わりました。
後見人が本人に心を寄せて活動されていることにただただ脱帽します。
市民後見人の方の生の声を聞く機会を頂きました。大変素晴らしい活動内容だと思います。
素晴らしい報告でした。

7. (2)「市民後見人監督業務担当者の立場から」

	回答数	回答率
わかった	54	98.2%
よくわからなかった	1	1.8%
まったくわからなかった	0	0.0%
未記入	0	0.0%
計	55	100.0%



感想やご意見等

監督業務がしっかりと行われていることがよくわかりました。
監督人が居るので安心して市民後見人も活動できると思った。
広域化実施に向けての参考になった。
制度の利用を促進させればさせる程、監督人の負担が増えます。シニア世代もよいですが、現役世代がそれを支えることで、職業や立場を超えて活動できる仕組みがあればよい。
日々の活動のサポートは勿論のこと、死後対応等、非日常的なことについてもサポートできていることで安心して活動できていると思いました。
本人に預貯金もない人や死亡しても身寄りのない人の場合、どこから葬儀代を出すのでしょうか？
弘前市全体的にこれからのですね。たらい回しにしない仕組みで頑張りたい。
市民後見人の監督は大変だと思うが、後見人が立派に活動を終えた時、真の喜びを感じられるのではないかと思います。
適切なサポートをして頂いていることがわかった。
アセスメントを通し、利用者の方の現状と需要を捉える重要性がわかりました。
アセスメントの重要さがわかりました。
いつもながらフォロー(活動・報告)がしっかりとしていると思った。
後見人を地域で支えていく姿勢が見えました。後見人を独立させない。
業務の土台がしっかりとできて驚きました。後見制度について、考え方等が進んでいることもよくわかりました。
大変よく理解できた。
市民後見人、被後見人と幅広く相談・支援していることがわかりました。感謝です。
市民後見人へのサポート体制が充実していて、市民後見人が安心して活動できていると思います。
「地域が地域を造る」という言葉が適確だと感じました。